



公益財団法人
愛知・豊川用水振興協会 | **概要書**



公益財団法人 **愛知・豊川用水振興協会**

概要

○目的

木曽川水系、豊川水系及び矢作川水系における愛知県の農業用水、水道用水及び工業用水を供給する幹線水路等施設の配水操作、維持管理及び調査研究業務を通じて得た水管理に関する技術を活用することにより、用水の適正利用に関する広報啓発及び用水の安定供給を確保するための事業を行い、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

○沿革

- 昭和 63 年 4 月 財団法人愛知・豊川用水振興協会を設立
平成 11 年 10 月 豊橋支所を設置
平成 21 年 4 月 岡崎支所を設置（愛知県西三河総合庁舎内）
平成 25 年 4 月 公益財団法人に移行
平成 26 年 7 月 事務局本部を愛知県三の丸庁舎内に移転
令和 元年 6 月 豊橋支所を土地改良会館（水土里ネット愛知 豊橋支会）内に移転

○所管行政庁

愛知県

○基本財産

6,800 万円

事業

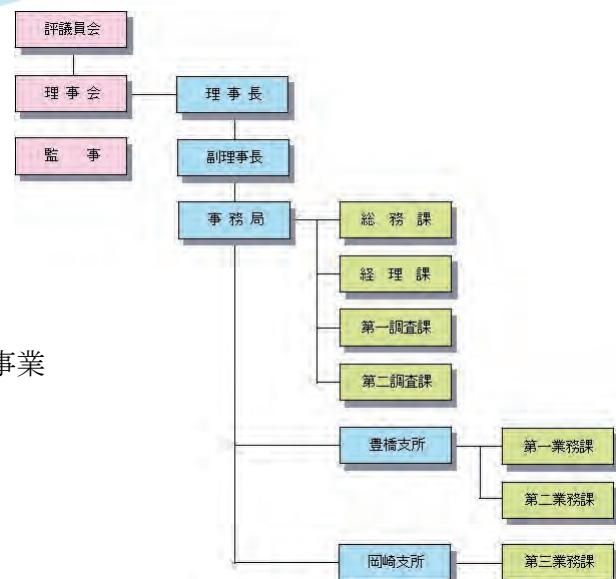
○公益目的事業

- ①多目的用水施設の操作維持管理
- ②多目的用水施設の水管理技術の蓄積
- ③多目的用水施設の管理技術講習会等
- ④多目的用水施設の設計・管理技術支援等
- ⑤地震時の初動活動支援
- ⑥用水の適正利用のための広報啓発
- ⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○収益事業

- ①管理図書充実支援
- ②水路上部有蓋化箇所の利活用
- ③会議運営
- ④その他公益目的事業の推進に資する事業

組織



公益目的事業の実施状況

多目的用水施設の水管理に関する技術を活用し、用水の安定供給を確保するための事業と用水の適正利用に関する広報啓発を行っています。

○多目的用水施設の操作維持管理と管理技術の蓄積

◆多目的用水施設の操作維持管理

この事業は、(独)水資源機構、農林水産省及び愛知県が設置した多目的用水施設の配水操作・維持管理業務を行うもので、ダム、頭首工、用水路、分水工及び水位調整ゲートなどの用水を供給するための一連の施設を正常に機能させ、適正に送水・配水できるようにするものです。

業務に当たっては、これまでに蓄積した多目的用水施設の配水操作に関するノウハウや知見及び維持管理に関する技術を活用して、適正かつ安定した水供給に努めています。

◆管理技術の蓄積

この業務は、多目的用水施設による適正な水利用を行うため、これまで保持してきた用水施設管理に関する知見・技術と継続的に実施している水路施設管理の実務経験を踏まえて、実用的な管理ノウハウを整理し蓄積するものです。

この管理技術は、土地改良区等の水路管理者に対する安定供給のための技術支援に活用し、また、用水の適正利用のための啓発活動に活かされています。

- ◇水路システムの設計・管理支援資料の作成
- ◇多目的用水施設の管理に関する情報（気象水象データ、水源状況等）の収集・整理
- ◇用水供給地域におけるICT水管理データの収集・整理



ゲート点検・操作



除塵作業



水源状況（ダム地点降水量、貯水量）



管理技術講習会

○用水の安定供給を確保するための事業

◆管理技術講習会等

土地改良区等の水路管理従事者等の管理技術向上を目的に、用水路システムの設計及び管理技術等の講習会等を実施し、用水路システムと送水機能についての理解を深め、安定して無駄のない送水管理ができるこことを目指しています。

- ◇用水路システムの設計及び管理技術、諸課題等の講習会

◆設計・管理技術支援等

支線水路管理業務等を実施する中で生じる用水管理上の課題等について、当協会の管理ノウハウを用いて課題解決のための技術支援（安全衛生教育に関する支援、用水機場の点検講習、管理図書の整理など）を行っています。



用水機場の点検に関する現地講習会

◆地震時の初動活動支援

愛知用水、豊川用水、矢作川利水の多目的用水施設の周辺居住者に地震防災モニターを委嘱し、震度4以上の地震発生後速やかに施設巡視を行い、状況を施設管理者に通報するなどの地震時の初動活動を支援しています。

この活動に当たっては、用水路の担当区間を定めて選任した約80人の地震防災モニターに対して、巡視方法等の周知・訓練、情報連絡網確認等の講習会を実施し、地震発生時の速やかな対応に備えています。



地震防災モニターへの講習会



担当区間現地説明

○用水の適正利用のための広報啓発活動

限りある水資源を有効利用し安定供給につなげるため、水資源の有効活用に関する情報の提供や水の適正利用に関する啓発活動を行っています。

◆水資源の有効活用のための情報提供

毎日のダム貯水量や気象予報を毎月ホームページへの更新を実施しています。また、事業内容等を掲載した広報誌を年2回発行しています。



広報誌「aitoyo 協会だより」



協会ホームページ(aitoyoネット)
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

◆水の適正利用のための広報啓発

・県民への啓発イベント

農家や先人の努力により守り育まってきた「農業用水」を中心に、「水」の重要性について広く県民に周知し、関心と理解を深めてもらうため、「あいの農業用水展」を開催しています。

また、水源地と受益地の相互理解を深めるため、「愛知用水・水のふるさと探訪ツアー」や「豊川用水平上下流交流事業」を開催しています。

・用水施設の役割と水の重要性について広報啓発

次世代を担う子供達に農業用水施設等の役割と水の重要性について理解を深めてもらうため、地域における活動組織と連携して出前講座やPRイベントなどで用水の仕組みの絵図等を活用した広報啓発グッズを提供しています。



「あいの農業用水展」



「豊川用水平上下流交流事業」
(田原市温室メロン)



「愛知用水・水のふるさと探訪ツアー」
(牧尾ダム)

◆各用水の周年事業

周年記念事業は、事業実施の苦労と完成後の効用を現在の人達が再認識し、感謝の気持ちを引き継ぐための節目の事業であり、この機会に広汎な人々に用水の重要性と水の有効利用について広報啓発を行っています。

これまで、平成23年度に愛知用水通水50周年の記念事業、平成25年度に矢作川利水羽布ダム竣工50周年の記念事業、平成30年度に豊川用水通水50周年の記念事業、令和3年度に愛知用水通水60周年の記念事業を実施しています。



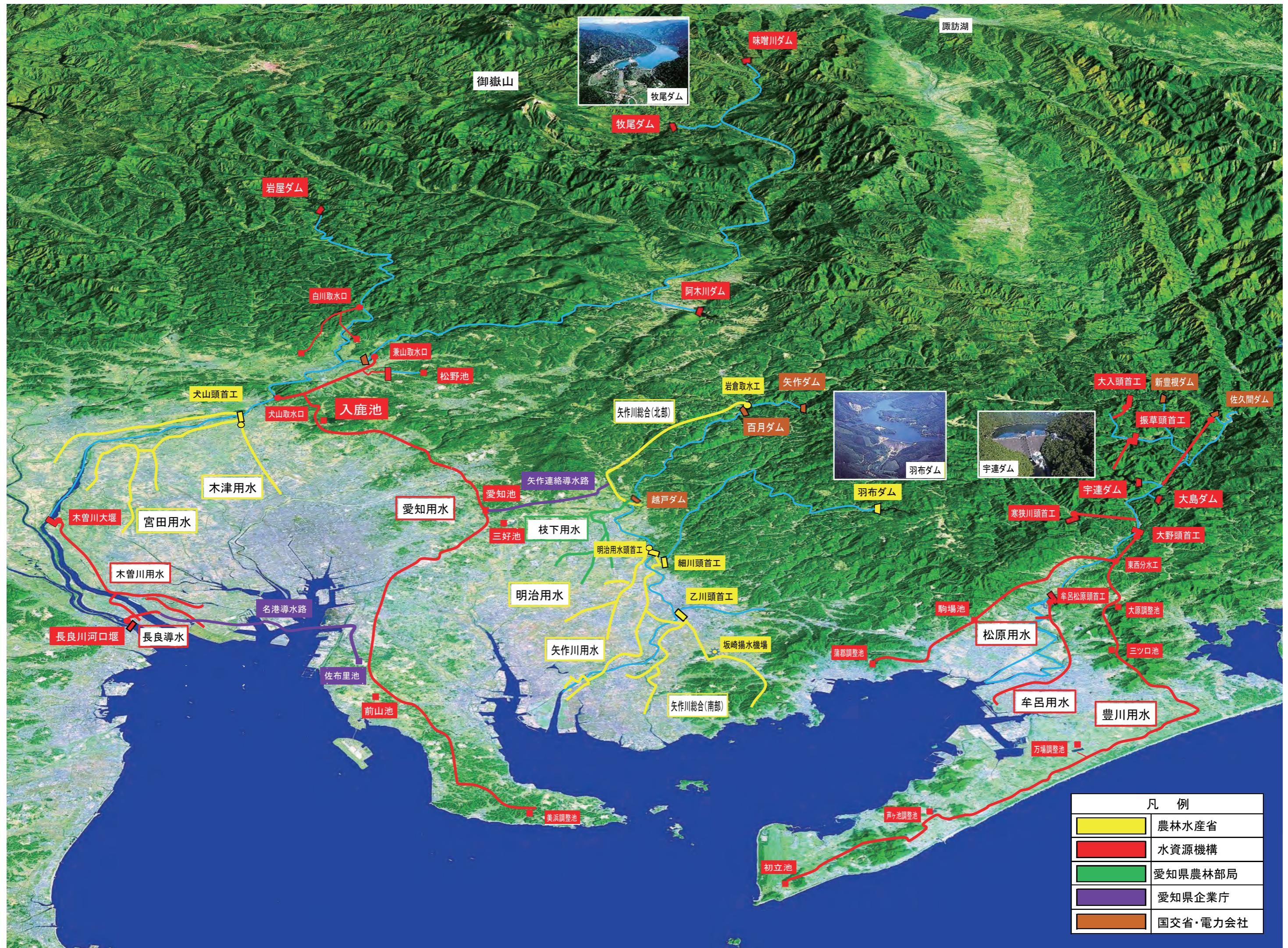
豊川用水通水50周年記念式典



「農と水のふれあいひろば」
(羽布ダム竣工50周年関連イベント)



愛知用水通水60周年記念イベント



施設の概要

愛知県内の多目的用水施設は、国内でも屈指の大規模事業により作られたものです。これらの施設は、かんがい用水及び都市用水を供給する大動脈として地域の生活及び産業を支えています。

○愛知用水

◆目的

愛知用水事業は、昭和 30 年から 36 年にかけて実施され、岐阜県から尾張東部の平野及び知多半島一帯に農業用水、水道用水及び工業用水を供給する多目的事業です。その後、営農形態の変化及び人口増加や生活水準の向上に伴う新たな水需要と施設の老朽化に対処するため、愛知用水二期事業等が実施されました。

用水供給量は、農業用水 $21.514\text{m}^3/\text{s}$ 、水道用水 $6.465\text{m}^3/\text{s}$ 及び工業用水 $9.240\text{m}^3/\text{s}$ です。

◆施設の概要

愛知用水施設等の概要は次のとおりです。

区分	施設等名	規模等
水源施設	牧尾ダム	有効貯水量 $6,800\text{万m}^3$ 形式 中心遮水ゾーン型ロックフィルダム 堤高 104.5m、堤長 264m
	東郷調整池(愛知池)	有効貯水量 900万m^3 形式 傾斜遮水ゾーン型フィルダム 堤高 31m、堤長 975m
	前山池	有効貯水量 97.2万m^3 形式 均一型フィルダム 堤高 18.4m、堤長 244m
取水施設	兼山取水口	最大取水量 $30.0\text{m}^3/\text{s}$
	入鹿連絡施設	延長 997.1m
水路施設	幹線水路	延長 112.1km
	犬山導水施設	延長 1,332.7m、最大取水量 $2.402\text{m}^3/\text{s}$
	支線水路	延長 1,063km
補助ため池	松野池	有効貯水量 235万m^3
	三好池	有効貯水量 220万m^3
調整池	美浜調整池	貯水量 10万m^3
水力発電施設	東郷発電所	最大出力 1,000kw

出典: 愛知用水概要書(水資源機構)

◆事業の工期

愛知用水事業

昭和 30 年 9 月着手、昭和 36 年 10 月管理開始

愛知用水二期事業

昭和 58 年 3 月着手、平成 19 年 4 月管理開始

三好支線水路緊急対策事業

平成 30 年 8 月着手、令和 5 年 4 月管理開始



牧尾ダム



兼山取水口



東郷調整池

○豊川用水

◆目的

豊川用水事業は、昭和 24 年から 43 年にかけて実施され、愛知県東南部の平野及び渥美半島全域並びに静岡県湖西市の地域に農業用水、水道用水及び工業用水を供給する多目的事業です。その後、老朽化の著しい施設について緊急改築事業、営農形態の変化及び人口増加や生活水準の向上に伴う新たな水需要と施設の老朽化に対処するため、豊川用水二期事業等が実施されています。

用水供給量は、農業用水 $20.960\text{m}^3/\text{s}$ 、水道用水 $4.183\text{m}^3/\text{s}$ 及び工業用水 $2.430\text{m}^3/\text{s}$ です。

◆施設の概要

豊川用水施設等の概要は次のとおりです。

区分	施設等名	規模等
水源施設	宇連ダム	有効貯水量 $2,842\text{万m}^3$ 形式 重力式コンクリートダム 堤高 65m、堤長 245.9m
	大島ダム	有効貯水量 $1,130\text{万m}^3$ 形式 重力式コンクリートダム 堤高 69.4m、堤長 160m
取水施設	大入頭首工	最大取水量 $5.0\text{m}^3/\text{s}$
	振草頭首工	最大取水量 $15.0\text{m}^3/\text{s}$
	佐久間導水路	最大取水量 $14.0\text{m}^3/\text{s}$ 、導水路 14.2km、 $\phi 1,350\text{mm}$
	大野頭首工	最大取水量 $30.0\text{m}^3/\text{s}$ 、導水路 6.3km
	寒狭川頭首工	最大取水量 $15.0\text{m}^3/\text{s}$ 、導水路 5.3km
	牟呂松原頭首工	最大取水量 $8.0\text{m}^3/\text{s}$
水路施設	幹線水路	東部幹線水路 75.7km、併設水路 49.4km 西部幹線水路 35.9km、併設水路 25.3km
	牟呂松原幹線水路	牟呂松原 5.3km、牟呂 17.9km、松原 1.0km (合計 約24.2km)
	支線水路	共用水路 3.9km、農業専用水路 516.9km (合計 520.8km)
補助ため池	三ツ口池他2箇所	三ツ口池 20万m^3 、駒場池 80万m^3 、初立池 160万m^3
調整池	大原調整池他3箇所	大原調整池 200万m^3 、万場調整池 500万m^3 芦ヶ池調整池 200万m^3 、蒲郡調整池 50万m^3
水力発電施設	大島ダム発電所	最大出力 240kw
	二川調節堰発電所	最大出力 7.1kw
	宇連ダム発電所	最大出力 760kw
	駒場池流入口発電所	最大出力 49.9kw

出典:豊川用水概要書(水資源機構)

◆事業の工期

豊川用水事業 昭和 24 年 9 月着手、昭和 43 年 4 月管理開始

豊川総合用水事業 昭和 55 年 12 月着手、平成 14 年 4 月管理開始

豊川用水二期事業 平成 11 年 12 月着手、令和 18 年 3 月完了予定



宇連ダム



大野頭首工



万場調整池

○矢作川用水・矢作川総合用水

◆目的

矢作川農業水利事業は、昭和 27 年から昭和 38 年にかけて実施され、西三河平野を貫いて流れる矢作川の下流地域に農業用水を供給する事業です。その後、経済発展により水の需要が著しく増大したため、矢作川第二農業水利事業など農業用水に加えて水道用水及び工業用水を供給する多目的事業が実施されました。矢作川水系の利水は、矢作ダム及び羽布ダムの二つの水源施設を軸として数多くの取水・導水施設により運用されています。

◆施設の概要

矢作川用水施設等の概要は次のとおりです。

区分	施設等名	規模等
矢作川用水	水源施設 羽布ダム	有効貯水量 1,846.1万m ³ 形式 重力式コンクリートダム 堤高 62.5m、堤長 398.5m
	共用施設 細川頭首工	最大取水量 農水 16.52m ³ /s[矢作第二]、農水 1.42m ³ /s[矢作総合]、 水道 1.23m ³ /s、水道[岡崎市] 0.40m ³ /s
		延長 1.5km (矢作総合と共有)
	明治左岸導水路	最大取水量 農水 5.50m ³ /s[矢作第二]、農水 1.42m ³ /s[矢作総合]、 水道 1.23m ³ /s
		延長 14.7km (矢作総合と共有)
	南部共用水路	細川幹線水路、上郷幹線水路、北野幹線水路、岡崎幹線水路
	専用施設 乙川頭首工	最大取水量 9.81m ³ /s
		六ツ美西尾水路 延長 18.1km 六ツ美幹線水路、西尾幹線水路
		吉良古川頭首工 最大取水量 2.36m ³ /s(吉良)、3.46m ³ /s(古川)
		北野・鹿乗水路 延長 13.6km 北野幹線水路、鹿乗幹線水路
		鹿乗川頭首工 最大取水量 3.67m ³ /s
		碧南平坂水路 延長 6.9km 平坂幹線水路、碧南幹線水路
	水力発電施設 羽布ダム発電所	最大出力 880kw
矢作川総合用水	北部 岩倉取水工	最大取水量 農水 1.34m ³ /s、水道 3.20m ³ /s、工水 2.67m ³ /s
		共用水路 延長 15.8km 北部幹線水路
		専用水路 延長 6.0km 豊田幹線水路
	南部 坂崎揚水機場	ポンプ4台、最大揚水量 1.44m ³ /s
		共用水路 延長 5.4km 南部幹線水路
		専用水路 延長 18.8km 南部幹線水路、吉良幹線水路

◆事業の工期

矢作川農業水利事業

昭和 27 年 4 月着手、昭和 38 年 4 月管理開始

矢作川第二農業水利事業

昭和 38 年 4 月着手、昭和 54 年 4 月管理開始

矢作川総合農業水利事業

昭和 45 年 4 月着手、平成元年 4 月管理開始

新矢作川農業水利事業

平成 6 年 4 月着手、平成 24 年 4 月管理開始

矢作川総合第二期農地防災事業

平成 26 年 4 月着手、令和 16 年度完了予定



羽布ダム



細川頭首工



坂崎揚水機場



○事務所案内



本 部：〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目 6-1（愛知県三の丸庁舎 8F）
TEL 052-961-8985（代表） FAX 052-961-9255 E-mail honbu@aitoyo.or.jp

豊橋支所：〒440-0801 豊橋市今橋町 18-1（土地改良会館 1F）
TEL 0532-26-9590 FAX 0532-26-9595 E-mail aitoyohashi@giga.ocn.ne.jp

岡崎支所：〒444-0860 岡崎市明大寺本町一丁目 4 番地（愛知県西三河総合庁舎 3F）
TEL 0564-25-2667 FAX 0564-25-2667 E-mail aitoyookazaki@mild.ocn.ne.jp

愛知・豊川用水振興協会キャラクター

水の妖精 アイ

(愛称:アイちゃん 2018年8月誕生)

愛知用水や豊川用水を流れる水から生まれた妖精です。

愛知・豊川用水振興協会の「愛」と、広報活動をサポートする役目として、information(情報や案内)の頭文字「i(アイ)」から名付けました。

水滴をモチーフにして形作られ、渦巻き状の魔法の杖を片手に、みんなに愛と豊かさと潤いをお届けするお手伝いをしていきます。

